**２　指導案例**

　　「ここが変だよホームページ」（本時４／７）

**(1) 本時のねらい**

　・情報を発信する際の留意点を理解することができる。　　　　　　　　　【知識・技能】

　・ホームページがウェブページとして載せられるように改善方法を表現できる。

 　【思考・判断・表現】

**(2) 学習過程**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学　習　活　動 | 教師の支援・留意点　☆評価規準 |
| 導入５分 | １　情報モラルについて復習する。・前時までに学習した情報モラルの種類についてペアで確認をする。 | 〇情報モラルの種類には，著作権，個人情報，人権・プライバシー保護があることを確認させる。 |
| 展開35分 | ２　ホームページを見て情報モラルに関わる事例を考える。ホームページとしてふさわしくないところを探そう・模擬ページにアクセスをして，どの部分に問題を含んでいるかを考え，発表する。・問題の部分が，人権・プライバシー，著作権の保護，個人情報のどれに当てはまるかを考える。・個人の写真が載っている。・店長の悪口が書いてある。・アニメのキャラクターを勝手に載せていて著作権に違反している。なぜ，インターネットなどを利用するときにルールやマナーが必要なのか・悪口を書くことによってお店の評判が落ちるから。・個人情報を悪用されて迷惑がかかる。・著作権のあるものを使うので訴えられるかもしれない。・店長が怒ってくる。・秘密をばらすことでお店の利益に影響する。 | 〇個人の名前を出すこと，悪口を出すこと，著作権について間違ったホームページを提示する。〇問題の部分が人権・プライバシー，著作権の保護，個人情報のどれに当てはまるかを考えさせる。☆情報モラルに関して違反しているホームページを見て違反箇所を見つけることができたか。（ワークシート）**【知】**〇悪気はなくても事実を書くことによって，困る人の立場からよくないことの理由を考えるように促す。☆学習を振り返り，情報を扱うときに気を付けなければならないこと，守らなければならないことを考えようとする。　　　　（ワークシート）**【思】** |
| まとめ10分 | ３　どのような表現にしたらよいかを考える。事業所の方にとってホームページとはどんなものかな・悪口を書かない。・事実であっても不利益になるものは書かない。・著作権があるものは使わない。・個人情報は流さない。 | ☆ウェブページでどのような表現が良いかを考えることができたか。　　　　　　　　（ワークシート）【思】 |

**(3) 評価**

　　・情報モラルにはどんなものがあるか理解し，情報モラルに欠けるホームページを見て意見交流す

ることで，情報モラルに関わる問題点を理解することができたか。

 　　　　　　 　（ワークシート）　【知識・技能】

　　・情報モラルに配慮した表現で，ホームページの改善方法を考えることができたか。

 　　（ワークシート）　【思考・判断・表現】